

光と空気と水を生かす

Always With You

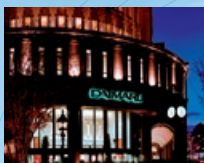


第85期 中間事業報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

ダイダンは、 「光と空気と水を生かす」企業です。

建物の電気設備、空調設備、
給排水衛生設備を
トータルにコントロールして、
快適空間を創造します。



光

- 電力設備
- 情報通信設備
- 防災設備
- 特殊電気設備

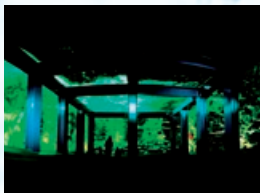
ダイダン株式会社

空気

- ビル空調設備
- 産業空調設備
- 自動制御設備
- 特殊空調設備

水

- 供給設備
- 処理設備
- 消火設備
- 特殊衛生設備



代表取締役会長
兼最高経営責任者(CEO)

菅谷 節



代表取締役社長執行役員
兼最高執行責任者(COO)

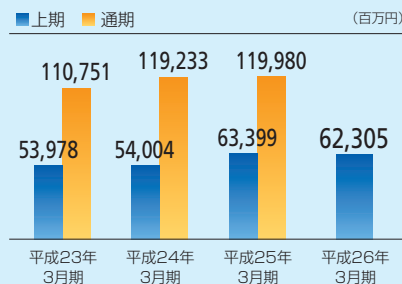
北野 晶平

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜りあり
がたく厚くお礼申し上げます。

さて、第85期第2四半期連結累計期間（平成25年4
月1日～平成25年9月30日）における事業の概要につ
いてご報告申し上げます。

連結財務 ハイライト

➡ 受注工事高



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の回復基調と、円安を背景に製造業を中心とした生産活動の回復により、企業収益の緩やかな改善がみられました。

建設業界におきましては、企業収益の改善に伴い、民間設備投資の活性化が期待されましたが、国内では依然として企業の設備過剰感が残存し、投資マインドは慎重な姿勢が続くなど本格的な回復には至りませんでした。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高623億5百万円、完成工事高557億1百万円、経常利益12億4百万円、四半期純利益3億10百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますように、1株当たり8円とさせていただきます。

さて、当社は平成25年3月4日に創業110周年を迎えました。

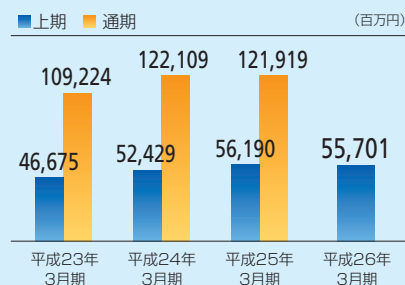
これも、わたしたちを支えてきていただいた皆さまのおかげと深く感謝しております。

当社は、「総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する」を経営理念に掲げ、人々がより安全に安心して暮らすための最良の環境を提供していくことを目指しております。

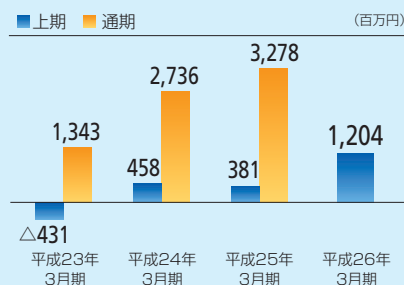
皆さまのご期待に応えるために、企業価値を高め、事業を継続していくことが使命であると考えています。

今後とも、株主の皆さまの一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

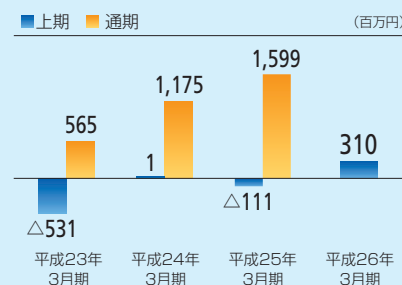
➡ 完成工事高



➡ 経常損益



➡ 四半期(当期)純損益



連結財務諸表

④ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	22,447	21,965
受取手形・完成工事未収入金	56,324	50,067
有価証券	49	—
未成工事支出金	314	906
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,003	855
その他	2,446	2,470
貸倒引当金	△ 6	△ 5
流動資産合計	82,581	76,260
固定資産		
有形固定資産	3,970	3,887
無形固定資産	417	342
投資その他の資産		
投資有価証券	11,007	13,319
繰延税金資産	2	2
前払年金費用	6,587	7,042
その他	2,222	2,251
貸倒引当金	△ 632	△ 654
投資その他の資産合計	19,186	21,959
固定資産合計	23,574	26,190
資産合計	106,155	102,450

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	39,979	33,296
短期借入金	6,251	5,635
未払法人税等	788	257
未成工事受入金	2,435	3,393
賞与引当金	—	1,296
役員賞与引当金	—	39
完成工事補償引当金	100	88
工事損失引当金	391	185
その他	6,458	5,618
流動負債合計	56,405	49,811
固定負債		
長期借入金	1,378	1,633
繰延税金負債	1,455	2,408
退職給付引当金	1,328	1,281
環境対策引当金	220	220
訴訟損失引当金	—	336
海外投資損失引当金	2	—
長期未払金	376	376
その他	0	0
固定負債合計	4,761	6,257
負債合計	61,167	56,068
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	33,774	33,594
自己株式	△ 660	△ 664
株主資本合計	42,403	42,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,412	3,923
為替換算調整勘定	40	66
その他の包括利益累計額合計	2,453	3,989
少数株主持分	131	173
純資産合計	44,988	46,382
負債純資産合計	106,155	102,450

POINT

四半期連結貸借対照表

流動資産は76,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,320百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(6,256百万円)等によるものです。

流動負債は49,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,594百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(6,683百万円)等によるものです。

純資産合計は46,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,393百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上(310百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(1,510百万円)等が剰余金の配当(490百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は45.1%(前連結会計年度末は42.3%)となりました。

④ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成24年 4月1日から 平成24年 9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年 4月1日から 平成25年 9月30日まで)
完成工事高	56,190	55,701
完成工事原価	50,955	49,764
完成工事総利益	5,235	5,937
販売費及び一般管理費	4,919	4,929
営業利益	316	1,008
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	97	107
受取保険料	93	82
為替差益	—	68
その他	25	25
営業外収益合計	224	293
営業外費用		
支払利息	80	75
支払保証料	8	12
為替差損	60	—
その他	9	9
営業外費用合計	158	97
経常利益	381	1,204
特別損失		
固定資産除却損	37	0
投資有価証券評価損	185	57
ゴルフ会員権評価損	2	1
訴訟損失引当金繰入額	—	345
特別損失合計	226	404
税金等調整前四半期純利益	155	800
法人税、住民税及び事業税	65	212
法人税等調整額	173	251
法人税等合計	239	463
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 84	336
少数株主利益	27	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 111	310

④ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成24年 4月1日から 平成24年 9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年 4月1日から 平成25年 9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,856	372
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 215	△ 78
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,251	△ 855
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 57	78
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	332	△ 482
現金及び現金同等物の 期首残高	22,635	22,420
現金及び現金同等物の 四半期末残高	22,968	21,937

POINT

四半期連結損益計算書

完成工事総利益は、完成工事高が減少するも、完成工事総利益率の改善により、前年同四半期連結累計期間比702百万円増の5,937百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比692百万円増の1,008百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間に生じた為替差損60百万円が、当第2四半期連結累計期間においては為替差益68百万円に転じたこと及び営業利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比823百万円増の1,204百万円となりました。

四半期純利益は、経常利益は増加したものの、投資有価証券評価損57百万円及び訴訟損失引当金繰入額345百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、310百万円(前年同四半期連結累計期間は111百万円の四半期純損失)となりました。

POINT

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は372百万円(前年同四半期連結累計期間は1,856百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少、未成工事受入金の増加及び非資金項目である減価償却費の調整等、資金の増加要因が、未成工事支出金の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払い等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は78百万円(前年同四半期連結累計期間は215百万円の資金の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出及びその他の固定資産の取得による支出(ソフトウェア等)等が、有価証券の売却及び償還による収入等を上回ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は855百万円(前年同四半期連結累計期間は1,251百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額等が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

➡ 発行株式数及び株主数

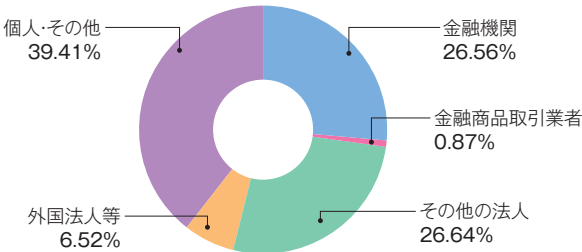
・発行可能株式総数	80,000,000株
・発行済株式の総数	45,963,803株
・株主数	3,948名

➡ 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
東京大元持株会	1,802	4.04
大阪大元持株会	1,642	3.68
ダイダン従業員持株会	1,545	3.46
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,480	3.31
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,060	2.37
日本生命保険相互会社	1,056	2.36
株式会社みずほ銀行	959	2.15

(注) 1. 当社は、自己株式1,354,935株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式1,354,935株を控除して計算しております。

➡ 所有者別分布



➡ 会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工並びにこれらに関連する事業
従業員数	1,474名

➡ 役員一覧（平成25年12月1日現在）

代表取締役会長兼最高経営責任者	菅谷 節
代表取締役社長執行役員兼最高執行責任者	北野 晶平
取締役専務執行役員	河久保 弘和
取締役専務執行役員	藤澤 一郎
取締役専務執行役員	太田 隆
取締役常務執行役員	杉本 泰輔
取締役常務執行役員	森 英高
取締役常務執行役員	櫻井 丈士
取締役執行役員	逢坂 美智勝
取締役執行役員	吉田 一也
取締役特別相談役	植林 信一
常勤監査役	櫻木 修一
常勤監査役	安東 憲二郎
監査役	土川 章
監査役	北村 八朗
主席執行役員	西内 義充
主席執行役員	多島 剛
上席執行役員	大平 哲也
上席執行役員	近藤 末義
上席執行役員	大津 久
上席執行役員	荻野 憲雄
上席執行役員	平井 政志
執行役員	山根 明
執行役員	塩谷 眞富
執行役員	清水 登
執行役員	大橋 重男
執行役員	古新 亮英

技術研究所 新研究棟完成 平成25年4月オープン

学会、大学関係者を来賓として招き内覧会、竣工披露祝賀会を開催しました。

技術研究所は研究棟、実証実験棟、第二実験棟（超臨界CO₂プラント）、新研究棟の4つの施設で構成されております。

新研究棟では、次世代の建築設備に関する研究・開発を推進するプラットフォームとして、スマートエネルギー時代に対応した「省・創・蓄」の研究開発、産業施設向けの最先端設備技術開発・検証実験、当社技術の展示・プレゼンテーションを行っております。



技術研究所は、1984年に設立され
「ヒト・モノ・地球にやさしい環境を提供する」をモットーに
3点を柱に研究開発を推進しております。

- 1 品質を確保するための基盤研究
- 2 お客さまに新しい価値を提供するための技術開発
- 3 建築設備分野にとらわれないイノベーション



1 開発技術の紹介

当社の技術力をアピールする開発技術を5つの分野に分けて紹介しています。それぞれの分野で、当社の施工技術や、産業施設向けの空調調和技術、エネルギーの見える化システム、無菌治療室を中心とした医療施設関連技術、製薬工場向けのシステムなどを展示しています。

2 研究開発の プラットフォーム

研究開発の中核をなす研究エリアには、専門的・多目的な実験室を用意し、柔軟な研究開発に対応しています。実験室には、化学成分の分析を行うことができる化学実験室や、大空間での多目的な実験を行うことができる大空間実験室などがあります。

3 建物全体を実験の 場として活用

エントランスホールは、2階にかけて吹き抜けの構造となっており白を基調とした清潔感のあるつくりになっています。お客さまをお迎えするだけでなく、窓面の熱や光環境の実験の場としても利用しています。

また、再生可能エネルギーシステムや新しい空調システムなど、様々な技術を建物全体に組み込み、建築設備の実験の場として活用しています。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.daidan.co.jp/>

「CSR報告書2013」の発行について



企業の社会的責任(CSR)の考え方や実績をとりまとめた「CSR報告書2013」は下記のホームページよりダウンロードが可能です。

CSR報告書2013

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部



ダイダン株式会社

〒550-8520
 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
 電話 (06) 6447-8000